



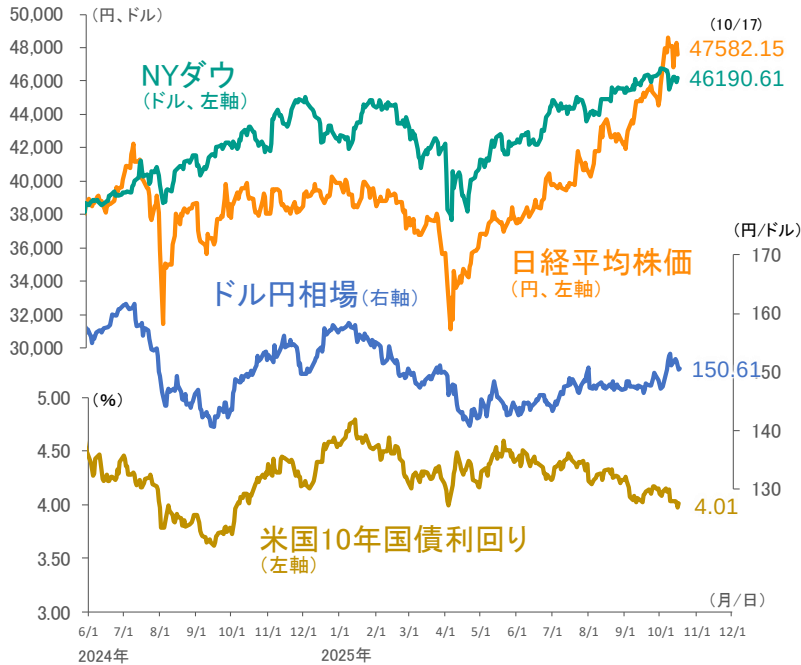
マーケット・レポート

Weekly Guide 2025.10.20

りそなグループのYouTube
で、最新のマーケット情報を
配信しております！



主要マーケット指標



先週は、トランプ大統領が中国に対する強硬姿勢を融和的に転換したことやパウエルFRB議長が利下げ継続を示唆したことから、米国市場では株価は反発、債券は続伸（金利低下）しました。週間騰落率は、NYダウが+1.6%、ナスダック総合指数は+2.1%。米国10年国債利回りは前週末比▲2bpの4.01%に低下、一時3.98%と約半年ぶりに4%を下回る場面がありました。国内では政局を巡る不透明感から株式市場では売りが先行し、日経平均株価は週間で▲1.1%と8週ぶりに反落しました。日本10年国債利回りは前週末比▲6bpの1.63%に低下、為替市場では、前週末の151円台から150円台半ばに小幅円高・ドル安が進みました。

今週は、日・米の9月CPI(消費者物価指数)が発表され、来週の金融政策決定に向けた最終判断材料となります。国内では21日に臨時国会が召集され、第104代首相が選出される予定です。組閣人事を受けた国内各市場の反応が注目されます。

当面の注目イベント

- ◆ 中・7-9月期GDP (20日)
- ◆ 日・臨時国会召集 首班指名 (21日予)
- ★ 日・9月貿易統計 (22日)
- ◆ 日・9月コアCPI (24日)
- ◆ 米・9月コアCPI (24日)
- ◆ 日・米・欧 総合PMI10月速報値 (24日)

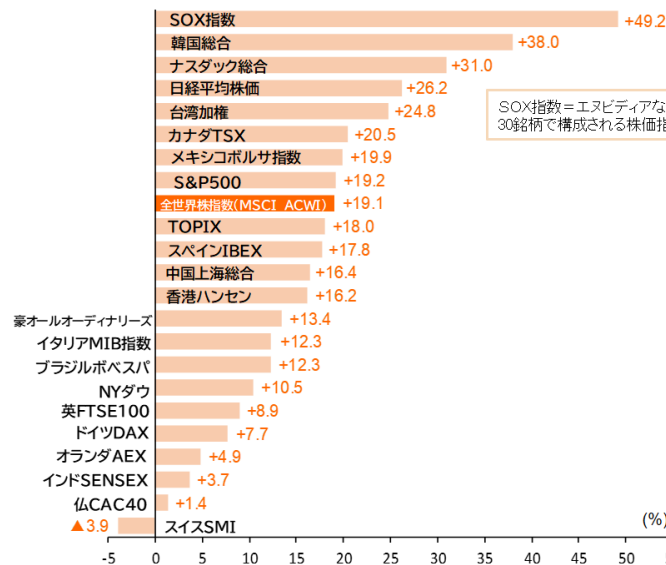
～日・米主要企業7-9月決算発表～

ネットフリックス(21日)、テスラ(22日)、NIDECC(23日)、信越化学(24日)

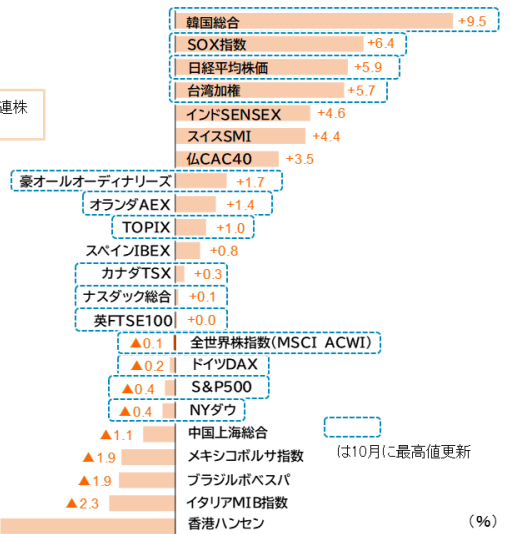
★：りそな景気先行指数関連指標

世界の主要株価指数は、『世界景気の拡大』と『米国の利下げ継続』を背景に上昇基調が続いています。AI関連株物色の継続で、半導体・電子部品株の比重が高い指数が、上期に続いて株価上昇のけん引役となっています

2025年度上期(4月-9月)



2025年度下期(10月1日~17日)



※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



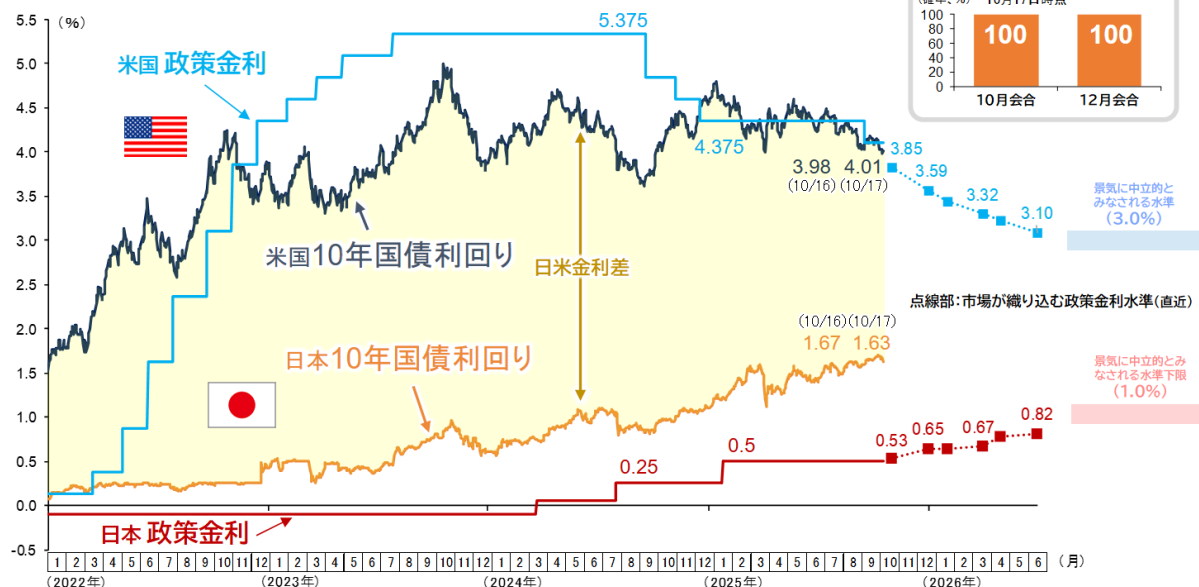
りそなアセットマネジメント

RESONA

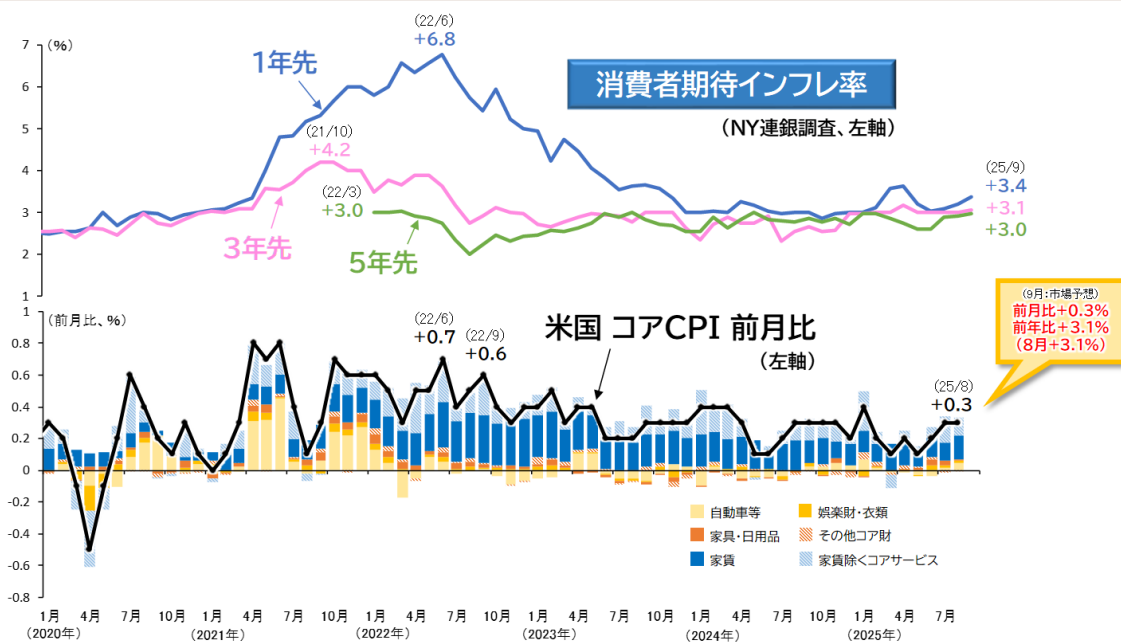
市場が織り込む各0.25%
利下げの確率

(確率、%) 10月17日時点

時期	確率 (%)
10月会合	100
12月会合	100



9月米国CPI(消費者物価指数)が24日に発表されます。米政府機関閉鎖で経済統計の発表が延期されていますが、CPIは年金給付金算出に必要なため例外的に公表されます。来週のFOMCの有力な判断材料となります



次回は 2025年10月27日 発行予定です

■当資料は、リそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、リそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認ください。